

株式
会社

ムサシ

証券コード:7521



Financial Report 2025

第104期

年次報告書

2024年4月1日～2025年3月31日



代表取締役社長
小野 貢市

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。
このたび、2025年6月27日付で代表取締役社長に就任いたしました。年次報告書の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は1946年の創業以来、選挙・金融・情報処理・印刷など、社会を支えるインフラ分野で事業を展開し、信頼と実績を積み重ねてまいりました。メーカー機能を併せ持つ商社として、自社開発と外部技術を融合した独自のビジネスモデルのもと、お客様のニーズに応じた最適な製品・サービスを提供しています。

そして自治体システムの標準化に対応したシステム開発や、ガバメントクラウドを活用したサービスの提供など、公共分野のDXにも積極的に取り組んでいます。また、リサイクル可能な製品の導入や環境配慮型システムの開発を通じて、持続可能な社会の実現にも取り組んでいます。

これからも変化を恐れず挑戦を続け、お客様・社会・環境にとって信頼される企業であり続けるよう努めてまいります。
今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

▶ 対処すべき課題

情報・産業システム機材では、自治体、図書館、研究機関など利用団体に対し、マイクロフィルムの保存方法や劣化対策、電子化の提案を進めてまいります。

印刷システム機材では、デジタル化による紙メディア需要減少の影響で機器・材料の需要が縮小傾向にあり、厳しい市場環境にあります。今後は、収益性の向上を図るため、多目的インクジェットプリンターやデジタルダイカッターなど特徴ある商品や自社開発ソフトウェアの拡販に注力し、競合優位性を構築し、他社との差別化と直販力を強化してまいります。

金融汎用システム機材では、顧客の課題解決に繋がる競争力ある商品開発に取り組み、新商品の市場投入

を積極的に推進してまいります。また、新規市場開拓に向けた商品開発や販売チャネルの拡充にも取り組み、事業の拡大を図ってまいります。

選挙システム機材では、自治体情報システム標準化への対応を進めてまいります。

紙・紙加工品分野では、印刷用紙の需要減少が続いているため、市場変化の影響を受けにくい、特殊機能・高付加価値を持ったオリジナル商品を開発・商品化することにより、採算性重視の受注とコスト削減により、収益性の改善に取り組んでまいります。

財務ハイライト



選挙機器

業界初！投票用紙の縦横を揃えて作業時間を短縮 投票用紙自動揃え機「テラックPS1」を発売

このたび、選挙の開票所での投票用紙の縦横揃えを行うことができる、業界初の投票用紙自動揃え機「テラックPS1」を開発し、4月18日に全国の自治体に向けて発売を開始しました。

今まで開票所では、投票箱から投票用紙を取り出した後、候補者別に分類する前に縦横を揃える必要があり、その手作業に相当な時間と労力がかかっていました。

長年その煩雑な手作業の負担軽減が求められてきたため、開披台の票をそのままホッパーに入れるだけで票が自動的に一方方向にスタックし、縦横を揃えることができる機械の開発に取り組みました。

今回の製品化により、開披区分係の手作業が大幅改善され、作業時間が大幅に短縮し、人員削減にも貢献することができます。

テラックPS1の特長

業界初！投票用紙の縦横自動揃え

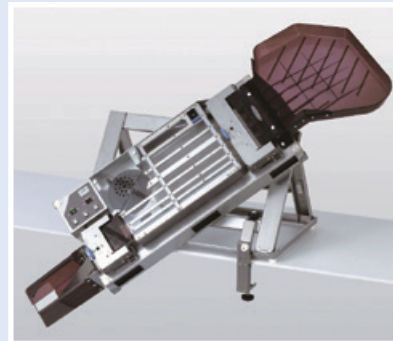
縦・横・斜め方向の混同票をホッパーに投入するだけで、本体内で自動的に縦横を揃え、スタック容器に排出。
投票用紙の開披作業にかかる手間が大幅に削減されます。

1分あたり約600票の大量処理が可能

投票用紙を一方方向に排出するスピードは1分間に約600枚。

ホッパーに票を投入するだけの簡単操作

電源スイッチを入れ、開披台にある票をホッパーに投入するだけのシンプル操作。



投票用紙自動揃え機「テラックPS1」

当社は、「テラックPS1」の導入による「開票時間の短縮」や「開票業務の費用削減」、「業務従事者の負担軽減」を全国の自治体に提案してまいります。

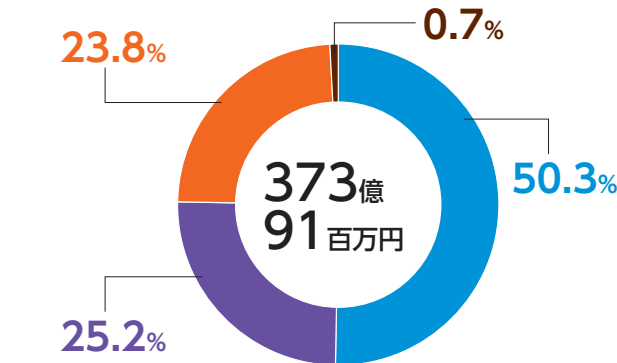
紹介動画URL

https://youtu.be/ko_b0dfs3RQ



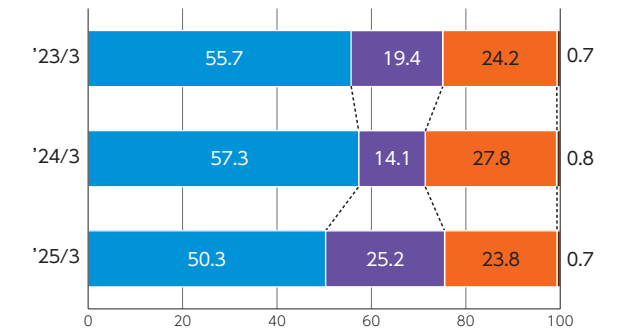
売上高 **373億91百万円** (2025年3月期)

売上高構成比



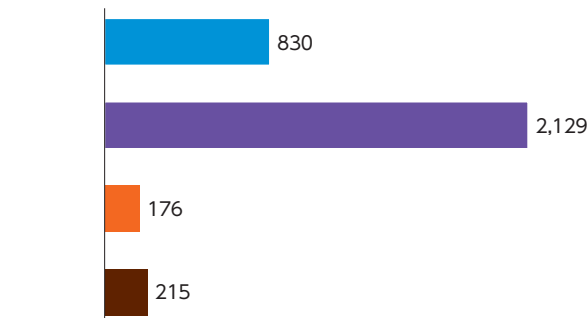
■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

売上高構成比の推移 (単位：%)



営業利益 **33億54百万円** (2025年3月期)

セグメント別営業利益 (単位：百万円)



■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材
■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

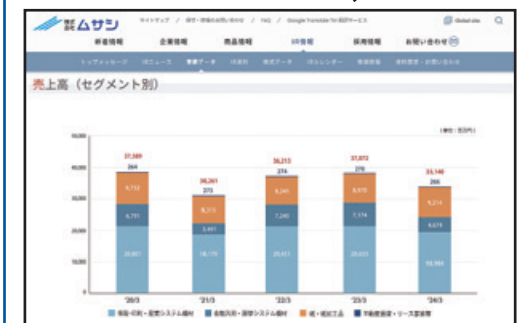
もっと詳しく知りたい方は

<https://www.musashinet.co.jp/ir/financial/>

から業績ハイライトページをご覧ください。

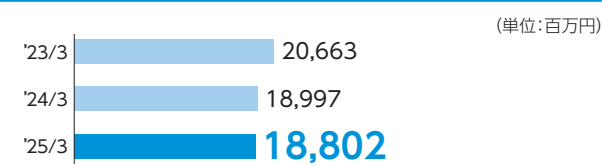
ムサシ 業績ハイライト

検索



情報・印刷・産業システム機材

▶ 売上高 188億2百万円



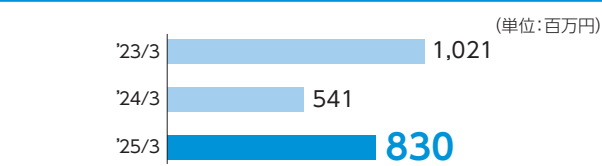
情報・産業システム機材は、工業用検査機材の販売が点検業務の需要増加やデジタル機器更新を取り込み増加しました。

業務用ろ過フィルターも半導体や精密電子機器向けの販売が順調に推移したほか、スキャナー等の電子化機器も好調に推移しました。

また、文書のデジタル化事業も概ね順調に推移しました。

印刷システム機材は、印刷機器の販売は多目的インクジェットプリンターやデジタルダイカッターの販売が伸長

▶ 営業利益 8億30百万円



し概ね順調に推移しましたが、印刷材料の販売が需要減少の影響を受け低調に推移しました。

以上の結果、セグメント売上高は188億 2 百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

また、利益面では高採算の電子化機器の伸長と、工業用検査機材や業務用ろ過フィルターの増収により、営業利益は8 億30百万円(前年同期比53.3%増)となりました。

紙・紙加工品

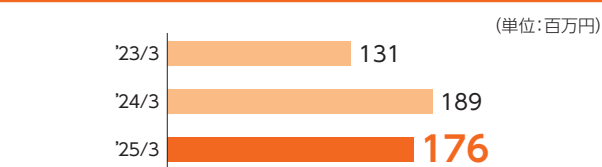
▶ 売上高 88億95百万円



紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙などの販売は順調に推移しましたが、印刷用紙や情報用紙の販売が需要減少の影響を受け落ち込みました。

この結果、セグメント売上高は88億95百万円(前年同期

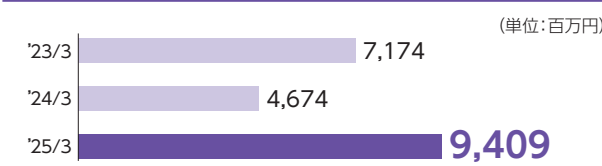
▶ 営業利益 1億76百万円



比3.5%減)、営業利益は 1 億76百万円(前年同期比7.0%減)となりました。

金融汎用・選挙システム機材

▶ 売上高 94億9百万円

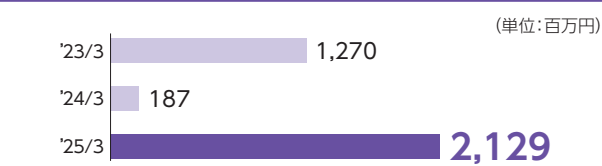


金融汎用システム機材は、貨幣処理機器の新貨幣対応や更新需要が金融機関や運輸業界向けに伸長しました。

また、金融機関の集中部門向けシステム機器の販売も順調に推移しました。

選挙システム機材は、衆議院選挙や全国の地方選挙向けに投票用紙交付機や読取分類機などの機器の販売が好調だったほか、投開票管理システムの販売やサポート業務も

▶ 営業利益 21億29百万円



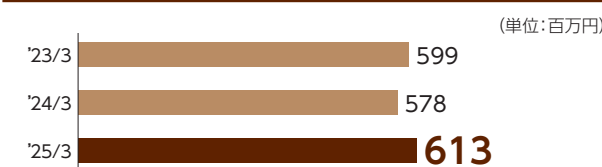
伸長したため前年実績を大幅に上回りました。

以上の結果、セグメント売上高は94億 9 百万円(前年同期比101.3%増)となりました。

また、利益面でも選挙システム機材増収の影響により、営業利益は21億29百万円(前年同期は 1 億87百万円)となりました。

不動産賃貸・リース事業等

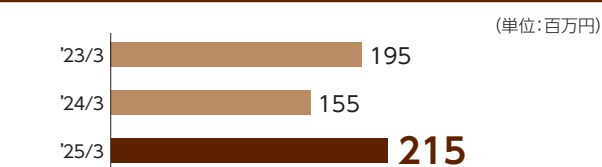
▶ 売上高 6億13百万円



不動産賃貸・リース事業等の業績は概ね順調に推移し、売上高は 6 億13百万円(前年同期比6.1 % 増)、営業利益は

2 億15百万円(前年同期比38.3%増)となりました。

▶ 営業利益 2億15百万円



連結貸借対照表

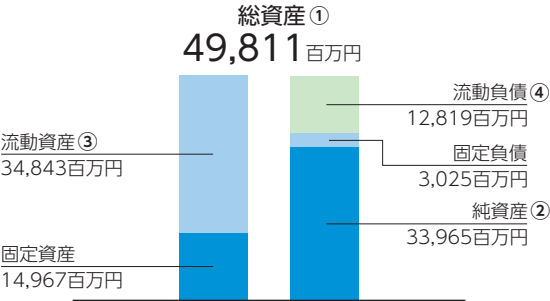
(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第104期 2025年3月31日現在	第103期 2024年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	34,843	32,436
2 固定資産	14,967	12,594
有形固定資産	3,767	3,887
無形固定資産	204	111
投資その他の資産	10,995	8,595
資産合計	49,811	45,031
(負債の部)		
3 流動負債	12,819	12,033
4 固定負債	3,025	2,799
負債合計	15,845	14,832
(純資産の部)		
株主資本	31,793	28,707
その他の包括利益累計額	2,172	1,490
5 純資産合計	33,965	30,198
負債・純資産合計	49,811	45,031

当期末総資産

自己資本比率(財務の健全性)
=②÷①×100
68.2%

流動比率(短期の支払能力)
=③÷④×100
271.8%



ポイント

資 産	
1 流動資産	
■増加の主要因	
・現金及び預金の増加	56億30百万円
■減少の主要因	
・関係会社短期貸付金の減少	30億円
2 固定資産	
■増加の主要因	
・株価上昇等による投資有価証券の増加	10億20百万円
・持分法適用関連会社の土地売却益計上に伴う 関係会社株式の増加	12億71百万円

負債	
3 流動負債	
■増加の主要因	
・未払法人税等の増加	10億43百万円
・「その他」の増加	3億42百万円
■減少の主要因	
・仕入債務(「支払手形及び買掛金」 及び「電子記録債務」)の減少	6億 9 百万円

4 固定負債

■増加の主要因

・繰延税金負債の増加

2億79百万円

純資産	
5 純資産	
■増加の主要因	
・親会社株主に帰属する当期純利益	34億32百万円
・その他の包括利益累計額の増加	6億82百万円
■減少の主要因	
・剰余金の配当	3億47百万円

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第104期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで	第103期 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
売上高	37,391	33,140
売上原価	26,713	25,052
売上総利益	10,677	8,087
販売費及び一般管理費	7,323	7,010
営業利益	3,354	1,077
営業外収益	1,442	117
営業外費用	57	71
経常利益	4,738	1,123
特別利益	—	27
税金等調整前当期純利益	4,738	1,150
法人税、住民税及び事業税	1,339	392
法人税等調整額	△33	△9
当期純利益	3,432	767
親会社株主に帰属する当期純利益	3,432	767

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第104期 2024年4月 1 日から 2025年3月31日まで	第103期 2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,331	△322
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	2,334	△3,372
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△434	△324
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,230	△4,015
現金及び現金同等物の期首残高	15,670	19,686
現金及び現金同等物の期末残高	20,901	15,670

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<https://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR
関連情報をタイムリーに載せております。



ホームページトップページ

より使いやすいサイトを目指してまいります。

ポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー	
■収入の主要因	
・税金等調整前当期純利益	47億38百万円
・減価償却費	3億95百万円
・その他の流動負債の増加	4億84百万円
■支出の主要因	
・持分法による投資利益	12億76百万円
・仕入債務の減少	6億 9 百万円
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	
■収入の主要因	
・貸付金の回収	30億円
■支出の主要因	
・有形固定資産の取得による支出	2億 9 百万円
・定期預金の預入・払戻純額	4億円
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	
■支出の主要因	
・配当金の支払	3億47百万円

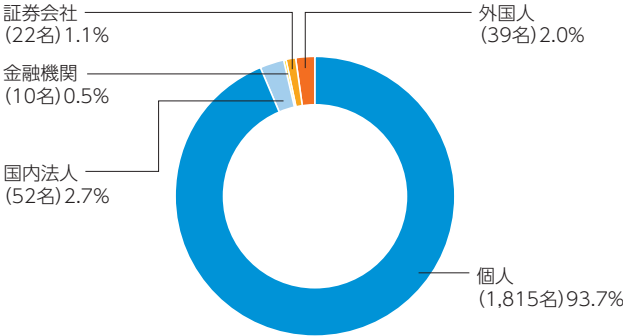
発行可能株式総数 28,920,000株
発行済株式の総数 7,950,000株
株主数 1,938名

大株主

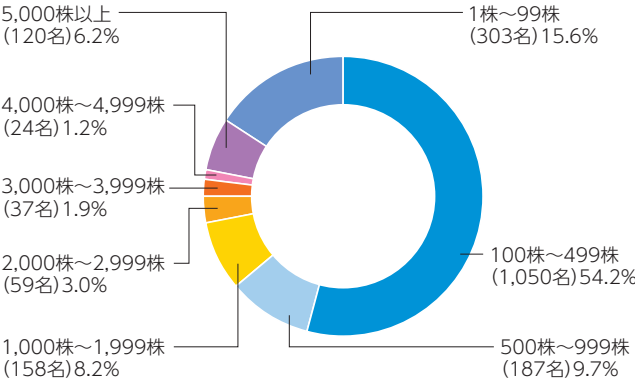
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	20.37%
ショウリン商事株式会社	897	13.16
ムサシ社員持株会	325	4.78
ムサシ互助会	299	4.38
株式会社日本カストディ銀行 信託口	279	4.10
小林厚一	237	3.48
株式会社みずほ銀行	160	2.34
EUROPEAN DEPOSITARY BANK SA-DUBLIN-BUTTERMERE DEEP VALUE FUND LIMITED	155	2.27
羽鳥雅孝	137	2.01
株式会社三井住友銀行	95	1.39

(注) 持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
当社は自己株式1,135千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別状況 (株主数)



株式の所有株数別状況 (株主数)



商号 株式会社ムサシ
設立 1946年12月
本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
資本金 1,208,500,000円
従業員数 連結533名/単体190名 (2025年3月末現在)

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行

関係会社 武蔵エンジニアリング(株)
ムサシ・フィールド・サポート(株)
エム・ビー・エス(株)
エフ・ビー・エム(株)
(株)ムサシ・イービーシー
ムサシ・イメージ情報(株)
ムサシ・アイ・テクノ(株)
武蔵興産(株)
(株)武蔵エンタープライズ
(株)ジェイ・アイ・エム

役員 代表取締役名誉会長 小林 厚一
代表取締役会長 羽鳥 雅孝
代表取締役社長 小野 貢市
専務取締役 小林 将治
専務取締役 羽鳥 智紀
取締役 山本 義明
取締役 村田 一則
取締役 森山 明彦
取締役 横尾 孝之
取締役 池田 哲郎
取締役 荻野 勝紀
取締役 田島 賢大
社外取締役 高原 巨章
常勤監査役 小林 佳典
常勤監査役 高橋 昌人
社外監査役 安藤 信彦
社外監査役 赤石 健

事業所

▶ 本社
▶ 東京第一支店・東京第二支店
▶ 紙・紙加工事業部・海外営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号

▶ 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号

▶ 仙台支店
仙台市青葉区本町一丁目11番2号

▶ 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地

▶ 東関東支店
千葉市中央区新町18番地10

▶ 神静支店
横浜市磯子区森二丁目2番2号

▶ 名古屋支店
名古屋市中区栄四丁目14番2号

▶ 大阪支店
東大阪市長田中三丁目6番1号

▶ 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号

▶ 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号

▶ 新潟営業所

▶ 茨城営業所

▶ 静岡営業所

▶ 浜松営業所

▶ 北陸営業所

▶ 岡山営業所

▶ 高松営業所



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合(特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問合せ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問合せ	右記みずほ信託銀行までお問合せ願います。	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問合せ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問合せ願います。	
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・お届出が済んでいない株主様は、上記お問合せ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

公 告 方 法 電子公告 (<https://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

定時株主総会 に関するご報告

定時株主総会に関する決議ご通知につきましては、当社ホームページにてご案内しております。
<https://www.musashinet.co.jp/ir/docs/meeting.html>

株式に関するマイナンバー制度のご案内

株式の税務関係のお手続のため、株主様からお取引の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められた通り、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書
・配当金に関する支払調書
・株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合

お取引の証券会社までお問合せください。

証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)

上記、株主名簿管理人までお問合せください。

株式
会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号
TEL.03-3546-7711
<https://www.musashinet.co.jp/>